

■マレーシア：再生可能エネルギー電力の固定価格買取制度を導入予定

エネルギー・環境技術・水道省 (MEGTW : Ministry of Energy, Green Technology and Water) は 2010 年 9 月 1 日、再生可能エネルギー電力の固定価格買取制度 (FIT) に関する法案を策定したと発表した。MEGTW はこの法案を 10 月に国会へ提出する予定である。法案が年内に成立すれば、2011 年の第 2 四半期 (4~6 月) から FIT が施行される。法案では、1kWh 当たりの買取価格は、太陽光 0.85~1.23 リンギ (約 22.9~33.1 円)、バイオガス 0.28~0.32 リンギ (約 7.5~8.6 円)、バイオマス 0.27~0.31 リンギ (約 7.3~8.3 円) および小規模水力 0.23~0.24 リンギ (約 6.2~6.5 円) と設定されている。また、2011 年の設備容量の上限は、太陽光 9,000kW、バイオガス 2 万 kW、バイオマス 11 万 kW および小規模水力 6 万 kW となっている。ただし、この上限値は毎年引き上げられることになっており、2030 年には太陽光 137 万 kW、バイオガス 41 万 kW、バイオマス 134 万 kW および小規模水力 49 万 kW とする計画である。なお、法案成立までに、買取価格や設備容量の上限値が変更される可能性がある。